

○第4回定例会(11月30日～12月10日)

## 市長提出議案

### 取手市保育所設置条例の一部改正…可決

〔内容〕施設の老朽化を踏まえ、令和4年3月31日をもって戸頭北保育所を廃止するもの。

**根岸議員**…令和4年3月廃止ではなく令和5年あるいは令和6年に先送りし、その間に保育士の人数を調整すべき。反対。

**関川議員**…効果的で質の高い保育サービスの維持・提供には、公立・民間の考え方ではなく、お互いに補完しながらサービスを提供していくことが大切。賛成。

**関戸議員**…戸頭北保育所の保育士を他の保育所に回すことで待機児童が減少すると言っているが、公立保育所が減少し、待機児童が増えてきたのが実態。反対。

**細谷議員**…戸頭北保育所廃止はあまりにも拙速。1年延ばし、地域の理解と納得を得る努力をすべき。関川議員の討論趣旨は分かるが進め方が問題。関川議員に反論。

### 令和2年度一般会計補正予算(第7号)…可決

〔内容〕戸頭北保育所移籍準備補助金、障害者自立支援給付費等の扶助費、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中止等を決定した事業の減額、人事院勧告等による人件費の減額、令和3年度業務の債務負担行為等

**関戸議員**…戸頭北保育所の廃止に伴う民間保育園への移籍準備補助金。廃止に反対する立場から反対。

**金澤議員**…戸頭北保育所移籍準備補助金は子どもたちと保護者のために必要。また、グリーンスポーツセンターは市民はもちろん近隣の方々にも大変重要な施設で改修工事を望む。賛成。

**石井議員**…戸頭北保育所の廃止に伴う他施設に移る費用の補助は非常に重要。また、夜間警備業務、駅周辺やトイレの清掃は美観にも必要不可欠。環境整備が整っているからこそ、安心できる。賛成。

**小堤議員**…市民生活の安全安心のため、早急に対処しなければならぬ事業が盛り込まれており大変有意義。コロナ禍でありながら市民を支援する事業と高く評価。賛成。

**久保田議員**…山王小学校の小規模特認校への移行は子どもたちの未来へつながっていく。また、コロナ禍により中止となった事業は、収束後に市をアピールすべく、数々の事業が開催されることを願う。賛成。

**金澤議員**…移籍準備補助金は、議決した保育所設置条例の改正により移籍する子どもたちに必要な予算。反対するのは、保護者の立場に立った判断とは思えない。関戸議員に反論。

**関戸議員**…戸頭北保育所の廃止決定は不合理で不当。移籍補償費は本来出さなくてよいもの。保育所の存続を求めることが大事。金澤議員に反論。

**金澤議員**…廃園を議決した今、園児や保護者のことを考えているのか大変疑問。関戸議員に反論。

**関戸議員**…補助金を出す基準や、公平さに触れなくてはならない問題。保護者の思いを酌み取るならば、議会は戸頭北保育所を存続させるべき。そのことにより支払う必要がなくなる。金澤議員に反論。

### GIGAスクール環境整備事業に伴う学習者用パソコン・大型提示装置の取得…可決

〔内容〕「GIGAスクール構想」を実現するため、市立小中学校の児童生徒1人1台分の学習者用タブレットPCの購入費、授業を円滑にするための大型ディスプレイを配備するもの。

**遠山議員**…GIGAスクール構想は、タブレットを通して調べ学習などの広がりも想像できるが、電磁波などの身体的影響の検証が未解決。反対。

**染谷議員**…通信環境のない家庭にはモバイルWi-Fiを貸し出し、全ての児童生徒が学習できるようにしている点を評価。賛成。



GIGAスクールの体験研修を受ける議員

### 取手市放課後子どもクラブの設置及び管理に関する条例の一部改正…可決

〔内容〕令和3年10月から土曜日の放課後子どもクラブの運営方式を一部小学校を拠点校として集約し、従来の半日開所から1日開所とするもの。

**入江議員**…利用者が少ない土曜日の放課後子どもクラブの開所を3カ所に集約し、1日開所とすることは、土曜日に働いている保護者への就労支援の拡大となる。賛成。

**遠山議員**…フルタイムで働いている保護者にとっては開所時間が一番の要求と受け止め、要望してきた。賛成。

**落合議員**…利用者数が少ない土曜日に対応し、持続可能で質の高い運営を堅持するもの。時代に合った利便性の向上が図られている。賛成。

## 議員提出議案

### 福島原発処理汚染水放出に関する意見書…否決

(提出者…根岸議員 ほか2人)

〔内容〕政府は、東京電力福島第一原発の処理汚染水海洋放出を決定しないこと。

**山野井議員**…福島第一原子力発電所の処理水は、国の基準を達成。トリチウム濃度も飲料水の基準を下回っている。農林水産業等への風評被害を防ぐため処理水の理解を深めることが大事。反対。

**小池議員**…今も続く被害と被害者の苦難を考えれば、さらなる困難を押し付けるようなことがあってはならない。復興のために誠実に力を尽くすことを訴える。賛成。

**細谷議員**…原発事故があった原発の処理水とほかの原発の処理水は違う。今回は、事故で放射線を浴びた処理水。海洋投棄は行わず、処理水をなくすための方法を考えるべき。賛成。

**根岸議員**…処理水は安全な濃度まで処理をされているので問題ない考えと捉えたが、海にたまる放射性物質の絶対量は増えていく。ほかの方法を検討する余地がある。山野井議員に反論。



山野井議員…危険な部分もあると思うが、きちんと除去した状況でない放出しないと名言している。国際原子力機関(IAEA)の監督の下、基準値を超えていけば流せない。根岸議員に反論。

### 感染者等に対する誹謗・中傷行為に対し厳格な措置を求める意見書…可決

(提出者…山野井議員 ほか2人)

〔内容〕感染者とその家族や濃厚接触者への人権侵害行為に対し、厳格な処罰を与える法案の制定。また、誹謗・中傷に対する厳格な注意喚起を呼びかける対策。

根岸議員…趣旨は理解できるが「厳格な処罰を与える法案の制定を検討すること」は、賛成できかねる。人を攻撃する要因を取り除かないと一時的な抑止にしかならない。反対。

小池議員…恐れるべき闘う相手は新型コロナウイルス感染症であり人間ではない。厳格な処罰を与える法案の制定を求めている意見書に反対。

## 請願

### 藤代小学校学童トイレ設置に関する請願…採択

(提出者…来山 義忠 ほか42人)

紹介議員…細谷議員)

〔内容〕藤代小学校学童室内にトイレ設置を。

遠山議員…体育館併設のクラブ室は、災害時等で高齢者や障がい者が避難所として利用できる場所。クラブ室内にトイレを設置すべき。賛成。

染谷議員…同様の請願が平成20年に採択されている。処理状況報告では、現在使用しているトイレを引き続き利用していただきたいとの報告。子どもたちの生活環境整備が必要。賛成。

根岸議員…開設当時はトイレも手洗い場もなかった。平成20年の請願を採択した後も動きがなく、その7年後にやっと手洗い場が設置された。改善を強く求める。賛成。

### 「取手市立戸頭北保育所」の存続を求める請願

…不採択

(提出者…竹内有子 ほか7,181人)

紹介議員…関戸議員ほか1人)

〔内容〕戸頭北保育所を廃止ではなく、存続させてほしい。

海東議員…市全体の保育行政を鑑み、待機児童解消になるなら戸頭北保育所廃止を推し進めるべき。反対。

須田議員…行政と住民が協力をして、公共サービスを民間に開放することが、保育の質の向上や維持につながる。また、戸頭北保育所廃止に伴う保育士の再配置により保育士不足による待機児童の早期解決につながれば、働く保護者が安心して保育所を利用できる。反対。



令和4年3月で廃止となる戸頭北保育所

関戸議員…7,181筆の寄せられた署名を重く受け止めている。これまで公立保育所を減らしてきたが待機児童は増え続けてきた。存続を求める声に議会が応える番。賛成。

根岸議員…令和4年廃止は拙速で延期するべきだが、廃止はやむなし。公立保育所が身近にあることが何よりの支援とあるが、民間保育所でも可能。また、改修や建て替えのために、子どもたちが園舎から離れ、ばらばらになる可能性もある。廃止による移籍でも同じ。反対。

細谷議員…子ども子育て支援事業計画から、1歳から3歳においても定員不足はないと見込まれる。廃止することが、即、待機児童の解消には結びつかない。海東議員に反論。

海東議員…廃止して保育士の転属先で受け入れ児童数が増えれば、待機児童解消につながる。細谷議員に反論。

関戸議員…市政協力員との意見交換を地域の住民との合意と取られているがそうではない。須田議員に反論。

須田議員…市政協力員は地域の代表。市の意向に沿っていてもいいのではとの意見もあった。関戸議員に反論。

関戸議員…市政協力員は地域の代表ではない。地域に説明し、合意を図ることが必要。須田議員に反論。

須田議員…市政協力員が地域の代表と思い接している。関戸議員に反論。

細谷議員…廃止によって保育士がほかの保育所に移ると、定員は増えるが、戸頭北保育所自体はなくなってしまうので相関関係はなくなる。海東議員に反論。

岩澤議員…待機児童の主な要因は、保育士不足によるもの。戸頭北保育所に勤務する保育士全員を各保育所に割り振った場合、0歳から2歳児の受け入れ枠が78名拡充する見込みと説明を受けている。細谷議員に反論。

## 初！オンラインで議案や請願を審査



オンラインを用いて付託案件を審査している総務文教常任委員会

定例会に向けた議会運営委員会や、12月定例会で付託された議案や請願を審査する常任委員会・特別委員会を、初めてオンラインで開催しました。

コロナ禍における有事に備えるため、9月定例会で会議規則と委員会条例を改正し、オンラインで委員会が開催できるよう条例等整備を行っていました。議会は不要不急のものではありませんが、11月27日、茨城県から取手市が感染拡大市町村の一つに位置付けられたため、感染拡大防止に努めながら最大限の議会運営をする観点から、委員会についてオンラインを用いることを議会運営委員会で決定しました。

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください

市議会だより「ひびき」

検索

取手市議会だより「ひびき」第236号(令和3年1月15日発行)一般質問ページへのQRコード

